

農業大学校体育館空調設備設置工事

[illegible]

附記事項	工事名称 農業大学校体育館空調設備設置工事	作 図 令和 8 年 8 月	図面番号
	図面名称 表紙・図面リスト	縮 尺 No Scale	全 15 枚
	兵 庫 県 ま ち づ く り 部 設 備 課		M 01 号

主方式

(1)中央方式
○定風量単一ダクト方式
○各階ユニット方式
○パッケージ方式
(2)個別方式
○

主要熱源機器

○吸収冷凍水機()
○ボイラー()
●パッケージ形空調機(●空冷 ○水冷)(○EHP ●GHP ○)

設計時の温湿度条件

場所	屋外(市・町)		屋内(調整目標値)		室
	温度(DB)	湿度(RH)	一般事務室	湿度(RH)	
時期					
夏期	℃	%	℃	%	℃
冬期	℃	%	℃	%	℃

ダクトの種別

※低圧ダクト
○高圧1ダクト
○高圧2ダクト(○Bシール有(長方形ダクト) ○Cシール有(円形ダクト))

ダクトの工法

○アングルフランジ工法 ○コーナーボルト工法(○共板フランジ工法 ○ライドオフフランジ工法)
コーナーボルト工法は、低圧ダクト(常用圧力±500Pa以下)で、かつ長辺の長さ1,500mm以下のダクトに適用可
※フランジ用ガasketの厚みはアングル工法ダクトは3mm以上、コーナーボルト工法ダクトは5mm以上とする。

矩形ダクトの分岐方法

給気等(SA、SOA、OA、RA)については原則割込み方式とし、排気(EA)については原則直付け方式とする。

吹出口及び吸込口

※垂鉛鉄板製
○グラスウール製

チャンパー等

シーリングディフューザー及び線状吹出口には下記のチャンパーを設ける。

シーリングディフューザー					
形番	寸法	記号	線状吹出口		
12.5	350×350×300H×0.6t	BL-S	(吹出口長さ+100)×300×350H×0.6t		
15	400×400×300H×0.6t	BL-D	(吹出口長さ+100)×300×350H×0.6t		
20	450×450×300H×0.6t	BL-T	(吹出口長さ+100)×300×350H×0.6t		
25	500×500×300H×0.6t				
30	550×550×300H×0.6t	CL	(吹出口長さ+100)×300×350H×0.6t		

消音内貼 ※要(標準仕様書第2編表2.3.4施工種別Lによる) ○不要

配管材料(図面特記部分は除く)

(1)冷水水管・膨張管・エア抜き管・膨脹タンクより、ボイラー等への補給水管
○配管用炭素鋼鋼管(SUS304)
○耐熱性ライニング鋼管
○配管用炭素鋼鋼管(白)
(2)冷却水管
○塩ビライニング鋼管
○硬質ポリ塩化ビニル管(HIVP)
○塩ビライニング鋼管
(3)空調用給水
○硬質ポリ塩化ビニル管(HIVP)
○塩ビライニング鋼管
(4)ドレン管
●硬質ポリ塩化ビニル管(VP)
○配管用炭素鋼鋼管(白)
●硬質ポリ塩化ビニル管(耐火VP)
●断熱材被覆銅管 ○銅管 ○鋼管 ○
(5)冷媒
●断熱材被覆銅管 ○銅管 ○鋼管 ○

丸ダクト材料(図面特記部分は除く)

※スパイラルダクト(垂鉛鉄板) ○

保温及び塗装(図面特記部分は除く)

標準仕様書の当該事項による。ただし、下記部分は本仕様とする。
(1)冷媒管の保温外表は下記による。
【屋内】隠ぺい部 ●不要 ○要
露出部 ○保温化粧ケース(塩ビ) ○合成樹脂製カバー2 ○ステンレス鋼板(SUS304)
●塗装亜鉛めっき鋼板(カラー垂鉛鉄板) ○溶融アルミニウム-垂鉛鉄板
【屋外】 ●ステンレス鋼板(SUS304) ○溶融アルミニウム-垂鉛鉄板 ○塗装亜鉛めっき鋼板(カラー垂鉛鉄板)
○保温化粧ケース(○樹脂製 ○溶融アルミニウム-垂鉛鉄板 ○ステンレス鋼板製(SUS304))
保温化粧ケースの下部カバーは、 ○要 ○不要 とする
(2)ファンコイルユニット等のドレン管の保温は、給排水設備工事の排水管による。
(3)弁・ストレーナなどの金属製カバー外装種別は、下記による。
1)屋内 ※塗装亜鉛めっき鋼板(カラー垂鉛鉄板) ○ステンレス鋼板(SUS304) ○溶融アルミニウム-垂鉛鉄板
□その他 ○塗装亜鉛めっき鋼板(カラー垂鉛鉄板) ※ステンレス鋼板(SUS305) ○溶融アルミニウム-垂鉛鉄板
(4)加温用給水タンクの保温は膨脹タンクに準ずる。
(5)トラフ内の油管はプラスチックテープ1/2重ね1回巻きとする。
(6)膨張管・補給水管の保温は冷水水管に準ずる。
(7)保温を施す膨脹タンク等のふたの保温は ※要 ○不要
(8)蒸気管及び還水管等で火傷が想定される配管は火傷防止対策を行うこと。
(9)下記部分の冷却水配管は、保温(凍結防止)を行い、仕様は還水管の項に準ずる。()
(10)耐火二層管の保温 ○要 ※不要
(11)機械室、DS等の非空調室内及び天井裏の廻りダクトの保温 ※要 ○不要

温度計

ボイラー及び貯湯タンク以外の温度計は下記による。
※工業用バイメタル式温度計 ○ガード付きし形温度計 ○

定風量ユニット

○メカニカル形 ○風速センサー形

オイルサービスタンク

(1)油面計 ※ゲージ式 ○ガラス管式
(2)油面制御装置の機能は下記による。
○給油ポンプの起動、停止制御
○満油警報 ○減油警報 ○遠隔警報(○満油 ○減油)

地下式オイルタンク

(1)マンホール蓋 ※WPM-AW形 ○WPM-DW形
(2)設置方法 ○タンク室式(内部充填砂) ○本工事 ※別途建築工事)
○直埋式
(3)基礎杭 ○要(○別途建築工事 ○本工事) ※不要
(4)遠隔油量指示計 ※設ける ○設けない
(5)漏えい検知設備 ※設ける ○設けない

鋼板製煙道

(1)厚さ ※3.2mm ○4.5mm
(2)附属品 ○ばい煙濃度計取付座 ○燃焼手 ○掃除口

ばい煙濃度計

※設ける(電源はボイラー制御盤より取出し、配管配線共本工事に含む)(※ファン付き ○ファン無し)
○設けない

瞬間流量計

※固定形 ○着脱可能形(測定用タッピング、本体)

ダクトの種別

※低圧ダクト ○高圧1ダクト
○高圧2ダクト(○Bシール有(長方形ダクト) ○Cシール有(円形ダクト))

ダクトの工法

○アングルフランジ工法 ○コーナーボルト工法(適用範囲は空気調和設備の項目と同様)
コーナーボルト工法は、低圧ダクト(常用圧力±500Pa以下)で、かつ長辺の長さ1,500mm以下のダクトに適用可
※フランジ用ガasketの厚みはアングル工法ダクトは3mm以上、コーナーボルト工法ダクトは5mm以上とする。

矩形ダクトの分岐方法

給気等(SOA、OA)については原則割込み方式とし、排気(EA)については原則直付け方式とする。

厨房排気ダクト

材質は ※ステンレス鋼板(SUS304) ○垂鉛鉄板

矩形ダクトの長辺	SUS鋼板板厚[mm]	垂鉛鉄板板厚[mm]
450以下	0.5以上	0.6以上
450を超え1,200以下	0.6以上	0.8以上
1,200を超え1,800以下	0.8以上	1.0以上
1,800を超えるもの		1.2以上

(消防予第206号(平成3.10.8)による)
油脂を含む蒸気を発生する厨房設備の排気フードには、火災拡大を防止するため防火ダンパーを設ける。

排気フード

(1)排気フードの補強、支持金物、接合剤等は垂鉛鉄板製ダクトの当該事項によるものとし、材質は下記による。
※ステンレス鋼板(SUS304又はSUS430、板厚1.0mm以上、補強共)
(2)排気フード廻りに取り付ける幕板は、上記フードと同材質とする。 ※本工事 ○別途工事
(3)グリースフィルターの前備 ※要 ○不要

丸ダクト材料(図面特記部分は除く)

○スパイラルダクト(○垂鉛鉄板 ○SUS304) ○硬質ポリ塩化ビニル管(VU)

保温

次の範囲に設置される換気用ダクト(チャンバーボックス含む)には保温を施工すること(図面特記部分は除く)

設置場所(天井内含む)	OAダクトの保温範囲			EAダクトの保温範囲		
	無し	外壁～2m	全て保温	無し	外壁～2m	全て保温
空調されている部屋・廊下	○	○	○	○	○	○
浴室・厨房等多湿箇所	○	○	※	○	※	○
空調されていない部屋・廊下	※	○	○	※	○	○

※全熱交換器から室内への給気ダクト、室内から全熱交換器への還気ダクトは上記のOAダクト、EAダクトに含めるものとする。

押搾対象部分

○廊下 ○事務所 ○図示 最大面積 m²

ダクトの種別

○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○Bシール有(長方形ダクト) ○Cシール有(円形ダクト))

ダクトの工法

※アングルフランジ工法(ガasketの厚みは4mm以上とする)

ダクトの材料

※垂鉛鉄板製 ○普通鋼板製

排煙口

(1)形状 ○スリットフェース形 ○パネル形 ○ダンパー形
(2)排煙口の作動 ○手動(○機械式 ○電気式) ○煙感知器連動
(3)復帰装置 ○手元復帰式(○手動 ○電気式) ○遠方復帰式
(4)ダンパー本体及び操作箱との渡り配線は本工事とし、それ以降の制御配管配線は別途電気設備工事とする

保温

床下及び暗渠内の保温 ※不 ○要

擬音装置

○AC電源 ○乾電池

小便器用節水装置

○一体型 ○分離型 電源供給方式は ○AC電源 ○乾電池 ○自己発電

自動水栓

電源供給方式は ○AC電源 ○乾電池 ○自己発電
手動スイッチは ○有り ※無し

大便秘器用便座

○温水洗浄便座(○瞬間式 ○貯湯式) ○普通便座 ○暖房便座
温水洗浄便座の付加機能 ○温風乾燥機能 ○擬音装置 ○リモコン(○AC電源 ○乾電池 ○自己発電)

和風大便秘器耐火カバー

※設ける(ビット内は除く) ○設けない

排水接続

衛生器具と塩ビ管の接続要領は標準図施工66による。

給水方式

○水道直結直圧方式 ○水道直結増圧方式
○高置タンク方式 ○ポンプ直送方式

配管材料

(1)一般配管 ○硬質ポリ塩化ビニル管(HIVP) ○硬質塩化ビニルライニング鋼管(SGP-VA、FVA)
○硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ○一般配管用ステンレス鋼管(SU)
○架橋ポリエチレン管 ○
(2)地中配管